

報道関係者 各位
ニュースリリース

2023年9月27日
五洋建設株式会社
鹿島建設株式会社
寄神建設株式会社

SEP 型多目的起重機船 CP-16001 完成について

五洋建設株式会社（社長 清水琢三）、鹿島建設株式会社（社長 天野裕正）、寄神建設株式会社（社長 寄神正文）が共同で建造を進めていた 1,600t 吊クレーンを搭載した SEP 型多目的起重機船 CP-16001（以下、SEP 船）がこのほど完成し、引き渡しを受けました。

建造は、マレーシア最大の国際的コングロマリットグループの Kuok Singapore 社傘下の PaxOcean Holdings 社（シンガポール）が担当しました。引き渡し式は、2023年9月8日、インドネシアのバタム島にある Graha 造船所で行われました。建造契約は 2020年1月30日に締結、同年10月30日に起工、2021年12月に進水しました。新型コロナウイルス感染症の拡大が長期化する中で建造となりましたが、関係者の尽力により、風車の大型化に対応した最新鋭の SEP 船が完成しました。本 SEP 船は、3社による共同出資会社「PKY マリン株式会社」が保有・運航します。

今後は、11月より北九州響灘洋上ウインドファーム建設工事で稼働を開始し、9.6MW の風車 25 基の基礎工事の一部と風車据付工事を行います。また、2027年以降本格化すると予想される一般海域の洋上風力発電プロジェクトにおいて、日本船籍の大型 SEP 船として活躍が期待されます。本 SEP 船は、日本の洋上風力発電の拡大に貢献するものと確信しています。

本 SEP 船は、全長 123m、全幅 45m、最大搭載人員 100 人で、洋上風車及びその基礎構造の大型化に対応して 1,600 t 吊全旋回式クレーンを搭載しています。主クレーンのブーム長を 130m、デッキ上からのフック高さを 143m 確保することにより、15MW クラスの風車を洋上で効率的に建設することができます。基本設計及びジャッキアップシステムは世界の SEP 船の 7 割以上を手掛ける GustoMSC 社（オランダ）が、主クレーンはオフショアクレーンのトップメーカーである Huisman 社（オランダ）が担当しました。五洋建設株式会社が我が国初の 800t 吊クレーンを搭載した SEP 船 CP-8001 の建造で培ったノウハウを生かした最新鋭の作業船です。居室はシャワートイレ付で木製の家具とする等、船上で働く人にも配慮したサステナブルな作業船です。

<参考：関連プレスリリース>

- SEP 型多目的起重機船（1,600t 吊）の建造について（2019年11月20日）
<https://www.penta-ocean.co.jp/news/2019/191120.html>
- SEP 型多目的起重機船（1,600t 吊）の進水式について（2022年1月5日）
<https://www.penta-ocean.co.jp/news/2022/220105.html>



(左：Low Soon Teck PaxOcean Holdings 副会長、
右：清水琢三 五洋建設社長)

【式典の様子】



【CP-16001 完成写真】